

南長岡駅構内で発生した 鉄道人身障害事故についての交渉

本部は、5月28日、交渉を行いました。以下、報告します。

1. 今回の事故を受けて、会社の見解を明らかにされたい。

回答・極めて憂慮すべき事態であり、重大な問題として認識している。

組合・この事故を含め、鉄道人身障害事故が3ヶ月連続して起きたことを深刻に受け止め、再発防止に努めていただきたい。

会社・会社としても深刻に受け止めており、再発防止に努めていく。

2. 発生原因を明らかにされたい。

回答・原因は調査中である。

組合・デリケートな部分であるが、本人との事情聴取はまだ出来ていないのか。

会社・まだ、本人との事情聴取が出来ていないため、発生原因は調査中である。地上で触車したことは明らかであるため、「貨車に添乗していて転落したのか」、「貨車に乗ろうとして転落したのか」、分かっていない。

組合・考えられる背後要因は。

会社・列車遅延・雪・夜間・焦り等々が考えられる。

組合・大雪や大雨等の輸送障害が起きても、列車を走らせたい・定時で発車させたいというプロ意識が働き、作業を継続してしまう。「作業を止める」という風土を構築していくべきではないか。

会社・安全は最優先であり、大雪等で作業困難と判断した場合は、現場長等の現場判断で作業を止めてほしい。

組合・作業を止めるマニュアル（目安）を、本社が作成すべきではないか。

会社・現場環境が様々であり、現場判断が適切と考えている。

組合・普通に考えれば、大雪が降る中で入換作業をしていること自体、大変危険である。これを無くすことは不可能だが、列車遅延等を気にすることなく、「列車を止める」安全最優先の風土を作り上げていただきたい。

会社・承知した。

3. 再発防止策を明らかにされたい。

回答・発生した事故や事象の原因を明らかにして、再発防止対策を策定している。

組合・ハード・ソフト面で、どのような対策を行っていくのか。

会社・まず、ハード対策として、逆デッキに添乗しての入換作業解消に伴うコンテナ車のユニット化を進めていく。また、入換遠隔操作化を検討していく。いずれも5年～10年程度の長期的なビジョン。ソフト対策では、すでに行っているが、無線機による入換合図表示前の運転士への連絡（添乗完了。地上誘導します。）を行っていく。

組合・安全への投資は惜しまず積極的に進めるべきである。

-
- 会社・会社としてもその認識であり進めていく。
- 組合・ソフト対策で、操車より「添乗完了」という報告を受けてから起動開始することとなったが、そもそも、駅作業要領で、「貨車や機関車等に添乗してから誘導を開始すること」と決められているが。
- 会社・その通りであるが、今回の事象を受けて更なる強化を図った。
- 組合・車両添乗時の位置および姿勢の再徹底（3点支持）については。
- 会社・貨車から転落しないように、再徹底を図った。無線機を持たなければ、4点支持となり、より安全が担保されるため、ハンズフリー無線機導入を勉強している。
- 組合・是非、導入を進めるべきである。貨車や機関車に添乗しなければ転落は起きないため、地上誘導を進めるべきと考えるが。
- 会社・地上誘導を拡大していく考えであるが、地上での触車事故（沼津駅等）が過去に起きていることも踏まえ、すべてを地上誘導にすることは考えていない。
- 組合・会社は、添乗し前頭誘導をすることが一番安全と考え、地上誘導を極力しないように進めてきたが、今回の事故を受けて、地上誘導を拡大していく方向に舵を切ったということでしょうか。
- 会社・そうである。
- 組合・会社として、早急に対策を立てることは必要であるが、現場の声を聞かずにトップダウンで下りてくるため、現場ではやらされている感があり、現場の声や行動心理も踏まえ対策を立てるべきである。対策対策の上塗りでは、新たな違う事象が起きてしまう。
- 会社・余分なものは省いていき、多くの意見を聞きながら進めていきたい。
- 組合・1人作業を止め、最低限、一操一連の作業とされたい。
- 会社・必要な人員は確保するが、要員等を含めすぐには無理である。
- 組合・E&S化を進めるとともに、入換作業自体を減らすような列車体系を進めていただきたい。
- 会社・通年を通して減らす考えでいる。
- 組合・貨車のデッキ隅に滑り止めテープを貼ってあるが、更なる安全を確保するため、デッキ全体やステップに滑り止めテープを貼ることを進めていくのか。
- 会社・テープを多く貼ると、滑り止め効果が出過ぎて足がつかずき、逆に危なくなることが出てきており、やり方を検討中である。
- 組合・手の滑り止め対策はどのように進めていくのか。
- 会社・滑り止めスプレーや軍手の素材や種類を含め、いろいろ考えている。
- 組合・駅構内が暗い場合は、明るい照明設置を進めていただき、夜間・雪や濃霧等でも、遠くから貨車の存在が分かるように、反射テープ等を貨車に貼ることを検討していただきたい。
- 会社・承っておく。
- 組合・先ほども言ったが、対策ばかりを上塗りしていくと、やることばかり増えて、新たな事象が起きてしまう。現場の声を聞きながら対策を進めていただきたい。
- 会社・承知した。

4. 受傷した社員に対して誠心誠意を持って対応し、十分なケアを施されたい。

回答・精神的フォローを含めたケアを行っていく。

- 組合・家族を含めて、大変デリケートな問題である。復職に関しては、本人の気持ちを一番に考え、働く職場の環境整備も含め、誠心誠意を持って対応されたい。
- 会社・こちらとしても、十分に認識しており、精神的フォローを含めたケアを行っていく。
- 組合・最後に、2025年度は、輪軸組立不正問題により失った信用信頼を取り戻すため、安全確保の取り組みを強化していたが、そのような中で鉄道人身障害事故を3か月連続で発生させてしまった。この事態を深刻に受け止め、再発防止に努めていただきたい。
- 会社・真摯に受け止め取り組んでいきたい。